

令和6年
第3回定例会

9月10日開催

上村町長の行政報告

みなさん おはようございます。
昨年の9月議会行政報告でも、「今まで経験しなかった猛暑、という言葉を今年も繰り返すことになり」という内容から始めましたが、これも3年続くと異常気象と呼ぶべきなのか、今年も昨年以上に早い時期から酷暑が続いています。

上島町ではこの酷暑対策として、世帯全員が非課税である高齢者や障がい者で、現在居住している住宅にエアコン設置がない世帯を対象としたエアコン設置支援を今年度から開始しております（実績、高齢者世帯5件、障がい者世帯1件の設置支援）。

ただ、日本各地では予期せぬ気象や、線状降水帯などによる異常な豪雨により、洪水や土砂災害が発生しており、改めて被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

7月1日、元岩城村村長稲本二氏の葬儀に参列させていただきました。旧岩城村の発展にご尽力いた

だいたことへの感謝の気持ちをし、町民を代表して弔辞にてお示しし、全体課長会においては黙祷を捧げました。今後も、稲本元村長の優しい笑顔のような町づくりを目指していくことを心に刻んだ1日でした。



本日は令和6年第3回定例会を招集いたしましたところ、全員の出席をいただき誠にありがとうございました。行政報告として6月定例会後の主な事項のみを報告させていただきます。

7月2日には、国交省スマートアイランドアドバイザーと面談し協議を行いました。今年度より、国土交通省では離島地域の課題解決のため、ICTをはじめとする新技術等の実装を図るスマートアイランドを推進していくためのアドバイザー

派遣事業を開始しています。

上島町においても地域活性化の起爆剤となりえる「キャッシュレス決済サービスの導入」および「地域通貨の導入」等に向けた検証・検討を行うため、アドバイザー派遣に応募したところ、今年度のモデル地域として選定されました。

今回のアドバイザー派遣では、上島町において、デジタル技術を用いた地域内の経済活性化および、地域外からの外貨を稼ぐ取り組みを実装していく手段として、地域通貨等の導入および利便性向上のためのキャッシュレス決済サービスの導入について、アドバイザーと関係各課で検証してまいります。

7月2日から3日にかけて、全国離島振興協議会副会長として、令和7年度離島振興の推進に関する要望活動を、国会議員や関係省庁等に対して実施しました。

上島町に直結する、その主な要望内容は

- 一 離島振興関係事業の強力な推進について
- 一 離島の観光・交流の促進について
- 一 離島航路の整備強化について
- 一 離島バス路線の維持対策等の強化について
- 一 地震・津波・火山噴火等大規模自然災害に関する特別対策事業

の促進について

一 離島市町村の財政力強化について

一 離島医療の改善について

一 高齢者福祉と介護保険制度の改善について

一 離島における教育・文化振興等について

一 地方創生関連施策の実施について

一 関係都道府県の離島振興対策の促進についてなど、合わせて全14テーマ、60項目です。

7月3日のうちに愛媛県に戻り、知事との意見交換会に出席、上島町や各地区からの要望活動を行いました。意見交換においては、造船業界や農業・漁業等への不足する労働力と外国人が求めている技能講習へのマッチングについて愛媛県側の協力を要請しました。

7月10日には、松山で開催された道路整備促進期成同盟会愛媛地方協議会および愛媛県市町道整備促進期成同盟会合同定例会へ出席し、総会後には愛媛県知事、愛媛県議会へ山積する道路整備の課題や防災・減災、国土強靱化対策等、必要な予算確保と適切な道路整備の推進について要望活動を行いました。

関連して7月26日、南海トラフ地震等の大規模災害発生時には、

住民の皆さまを守る命の道となる

ことから、高松市の四国地方整備局において局長や道路部長へ関係予算総額の満額確保等、道路整備推進への要望活動、同じく道路関連として、8月7日には、愛媛県内道路関係期成同盟会による東京での合同中央要望を行い、国土交通省の堂故副大臣・吉岡事務次官・廣瀬技監・山本道路局長・藤巻水管理国土保全局長・須藤審議官、財務省の新川事務次官・宇波主計官、関係国会議員などに要望を行いました。

前日の8月6日には、国交省・総務省幹部の方々が7月に異動されたので、挨拶回りを行うなど、時間の合間には省庁回りを行い、特に観光面での協議を行わせていただきました。

7月15日には、高井神で開催された、ゆめしま&さなみ地域交流BBQに参加しました。高井神への移住者のお子さん、魚島や弓削高校への留学生を交えての楽しい時間でしたが、改めて離島留学と高井神の活性化を上島町の重要な施策として進めなければならない事を認識いたしました。

なお、「ゆめしま寮」の運営に関しては、7月現在で予算の範囲内はもちろん、計画より少ない経費

で順調に実施しています。

7月17日には、上島町身体障害者福祉協議会総会と区長懇談会に出席しました。区長懇談会では、町からの報告に加え、「倒壊危険家屋の問題」「保育所・小学校の統合」「災害時の避難・要支援者対策」などの各地区の身近な要望・質問があげられ、情報共有と活発な意見交換をすることができました。

7月24日には、自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村の会 四国ブロック会議を上島町で開催しました。

四国4県の23市町の首長や担当者（参加者48名）の参加の元、協議の議事進行を私が務めさせていただき、国への交通ルール啓発強化の要望を取りまとめました。またシェアサイクルの普及、デジタル技術の活用など、市町の課題について意見交換を行いました。

7月25日には、松山市において愛媛県漁港漁場協会による理事会および総会が開催されました。総会には、水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課 水産施設災害対策室長をはじめとする漁港漁場関係団体の方々がお来賓として出席され、水産庁の高原室長からは「海業」について、ご講演いただきました。

「海業」とは、海や漁村に関する地域資源の価値や魅力を活用する取組みのことで、水産業だけでなく、地域振興につながる重要な事業として、今後、上島町においても取り組んでいく方針です。

7月27日には、FC今治のホームタウンプロジェクトの一環として、「上島町マッチデー」が今治で、8月18日にも「愛媛FCマッチタウンデー」が松山で開催され、上島町ブースによる観光案内、特産品の販売・飲食ブース、キッチンカーの参加などにより、上島町のアピールに努めてまいりました。

7月30日には、海事産業の未来を共創する全国市区町村長の会に出席し、「人材確保・育成の取組みの推進」など3項目の要望を、国土交通省の石橋政務官や宮武海事局長をはじめ自由民主党および公明党の衆参国議員に行いました。

また、各市町の特産品をPRする機会があり、上島町で最近売り出した新商品のアピールも行ってきました。

8月3日にはふるさと夜市に参加し、沖縄をはじめ全国各地から里帰りした懐かしい顔に出会えることができました。上島町全ての島々からの参加や、若者たちの浴衣姿や

先輩方の明るい笑顔に、幸せな気分になりました。

8月6日に開催された尾三圏域地域医療構想調整会議において、因島医師会病院と因島総合病院（日立造船健康保険組合）から再編統合に関する対応方針に合意が得られたため、令和8年4月1日の統合に向けて両病院で準備を進めて行く事が公表されました。

私は、尾道市島嶼部および上島町地域が活用し、同様な機能を担っている双方の病院が、今後の運営を考える中で統合の判断をなされたことは、地域医療を守るため慎重な議論を重ねられた結果であり、その判断を尊重しなければならないと考えています。

今後は、因島医師会病院と因島総合病院の2つの医療機関の統合により、因島地域の住民をはじめ、島嶼部に住む方々にとって、安心して暮らしていくことのできる医療提供体制の維持につながるよう、連携していきたいと考えています。

なお、この構想については7月18日に広島県と病院側から上島町に事前説明があり、8月1日に上島町議会議長・副議長に報告、8月7日に病院側が作成した説明書を議員の皆さまに配布しております。これは尾道側の工程に合わせて実